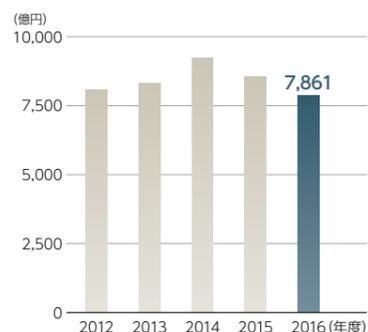


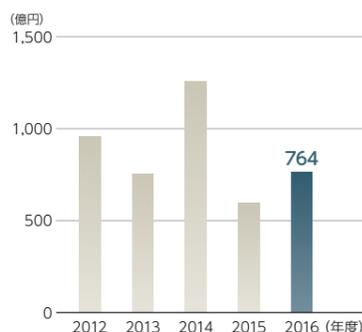
# 主要財務・非財務指標

## 売上高



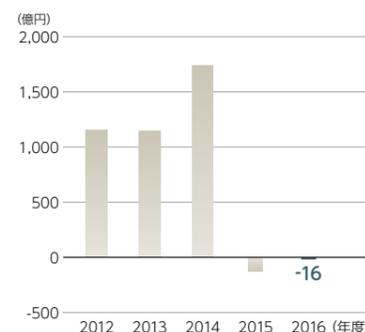
電気銅の販売数量の増加があったものの、ニッケルおよび銅価格の下落ならびに円高の影響により、前年度に比べ693億円の減少となりました。

## 営業利益



年度末にかけての円安傾向および金価格の上昇による在庫評価影響の好転に加え、モレンシー銅鉱山の権益追加により、前年度に比べ167億円の増加となりました。

## 経常利益(損益)

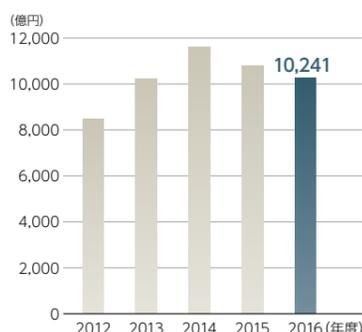


シエラゴルド鉱山社において当連結会計年度も減損損失が計上されましたが、連結営業利益の好転などにより、損失額は前連結会計年度に比べ112億円の減少となりました。

## 総資産/自己資本比率



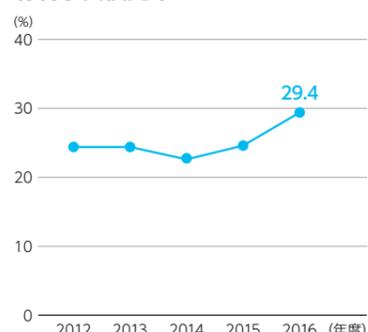
## 純資産



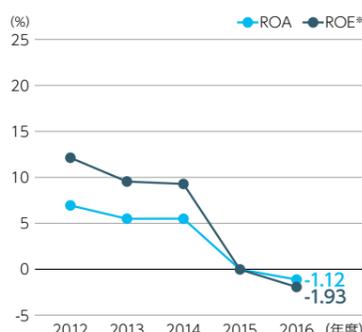
## 当期純利益(損益)/1株当たり配当金



## 有利子負債比率



## ROA/ROE\*



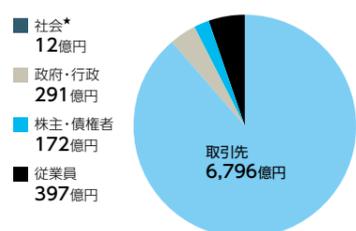
\*株主持分の算出にあたっては、右記の計算により算出しています。

## ギアリングレシオ(D/Eレシオ)\*



\*株主持分=株主総資産+その他の包括利益累計

## ステークホルダーごとの価値分配(2016年度)



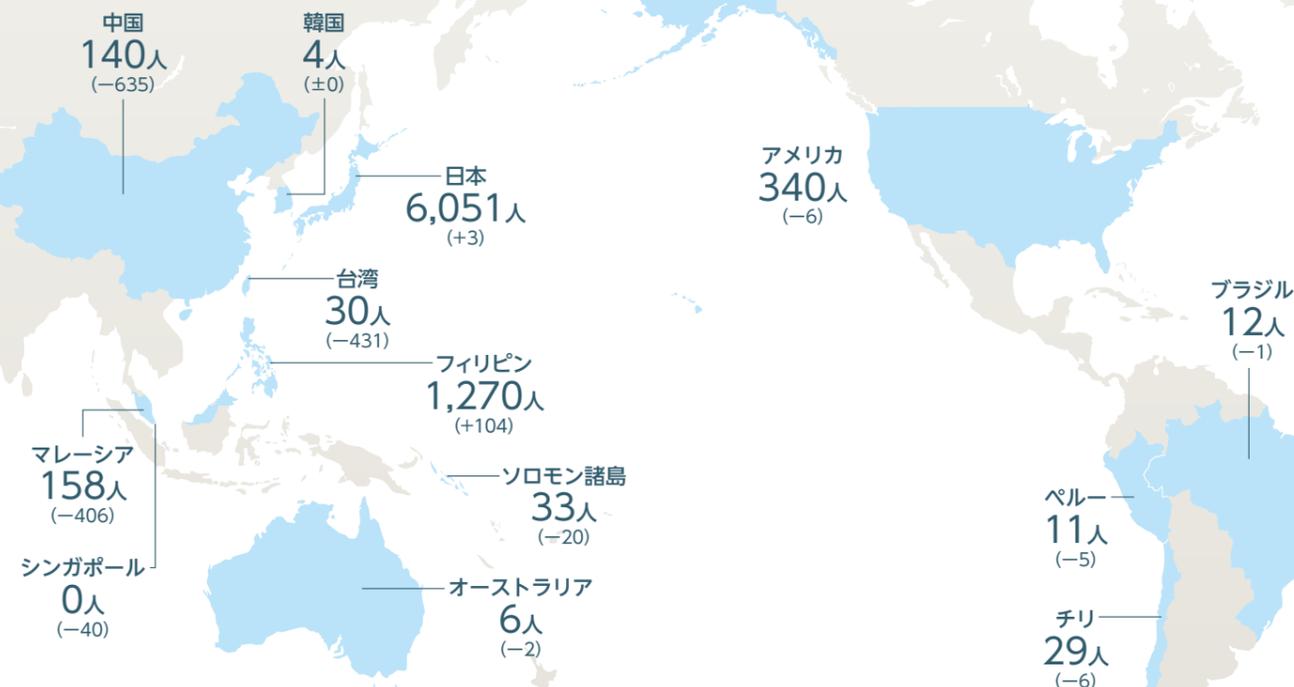
左記のほかに留保した価値はありません。また、土地使用料は僅少ですので取引先への支払い等に含めています。

\*フィリピン(CBNC、THPAL)における社会開発マネジメントプログラム(SDMP)および同国においてその他の寄付を通じ支出された10億円を含みます。

## 配当推移

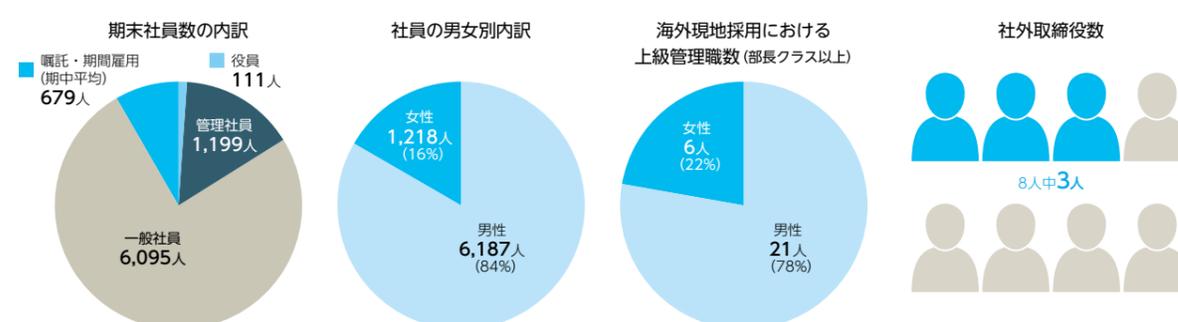


## 地域別役員・従業員数(連結)(2017年3月末)



\* ( )は2016年3月末時点との増減差。

## 役員・従業員の状況(連結)(2017年3月末)



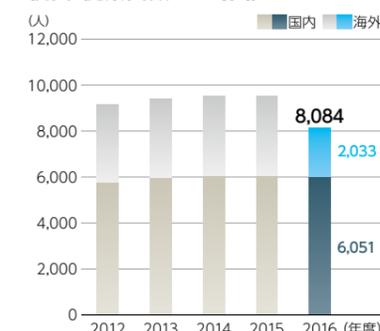
## 労働災害度数率



国内事業場における従業員の全労働災害事件数は、22件(度数率1.65)で、増加となり、休業災害についても5件と前年から増加しました。

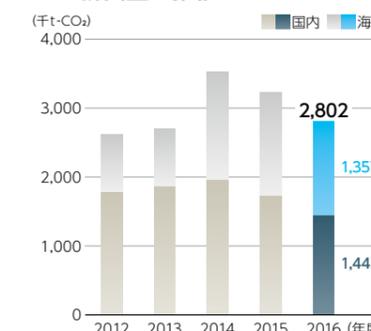
度数率=労働災害による死傷者数÷延実労働時間数×1,000,000

## 役員・従業員数(連結)推移(派遣社員除く)



リードフレーム事業の売却により、2016年度3月末人員から、中国、台湾、マレーシア等で減少となりました。

## CO<sub>2</sub>排出量の推移



国内事業において、播磨事業所における事業転換等によってCO<sub>2</sub>原単位の高い製品の減産となり、それに伴いCO<sub>2</sub>排出量が減少しました。